

## エリアマネジメント Ⅴ章 これからのまちの運営体制

～エリアプラットフォームを構築し持続発展的に展開する～

---

『自由が丘未来ビジョン』を実践していくためには、取組主体となる組織・団体・企業、また様々な取組を“統括する仕組み”が必要です。

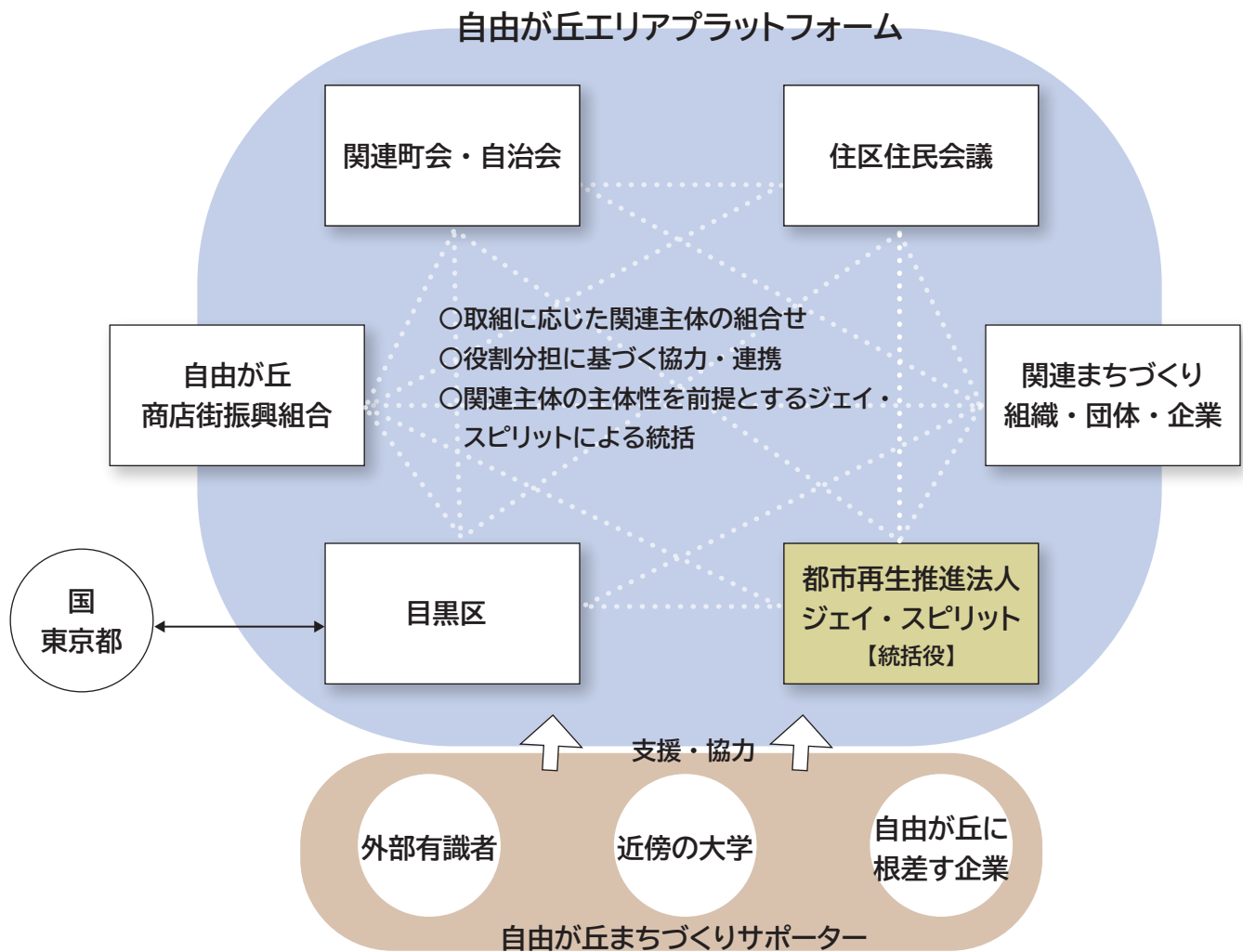
この仕組みを〈自由が丘エリアプラットフォーム〉と称します。

〈自由が丘エリアプラットフォーム〉は、都市再生推進法人㈱ジェイ・スピリットを統括役としながら、関係する組織・団体がフラットにつながり合う機会であり、〈自由の思想〉を大切に未来に向けたまちづくりの取組を、対話を通じて一つの意思とする仕組みとします。

統括役となる都市再生推進法人㈱ジェイ・スピリットは、目黒区・外部有識者・近傍の大学・自由が丘に根差す企業をまちづくりサポーターとして位置づけ、適宜支援・協力を求めていくこととします。

『自由が丘未来ビジョン』の実現に向けた具体的な取組にあたっては、〈自由が丘エリアプラットフォーム〉を通じて、地域全体に多様な媒体によって周知し、実現に向けた機運を高めていきます。

『自由が丘未来ビジョン』が目標とする今後 30 年間については、社会経済情勢の急速な変化が予想されることから、取組内容の適切性・適時性を常に確認し、必要に応じて変更・改善を図っていくこととします。



取組の検証や評価を継続的に行うことで、社会経済情勢やまちの状況に応じた軌道修正などを行い、都度最適な取組を行うこととします。

